

きずな

2017年
3月号
vol.361



特集 心臓リハビリテーション

- 新病棟探検シリーズ
- 下肢の外傷疾患
- 定年退職者の方から

North Alps Medical Center Azumi Hospital



北アルプス医療センター

あづみ病院

心臓リハビリテーション

リハビリテーション科理学療法士

永富丈博

1、心臓リハビリテーションとは？

『心リハ』とは心臓病の患者さんが快適な社会生活や家庭生活を送り、冠危険因子(高血圧、糖尿病、脂質異常症、肥満など)を是正することで、再発を予防することを目的とし、運動療法・食事療法・薬物療法・健康相談などを行う包括的なプログラムです。

2、対象疾患

狭心症、心筋梗塞、心不全、開心術後、閉



塞性動脈硬化症、大動脈解離

3、心リハでは何をやるの？

・患者さんの生活を、運動や投薬・栄養など様々な面からサポートします。
 ・運動負荷試験により体力を正確に把握し、日常生活での注意点をアドバイスします。

4、心リハの効果

・運動能力の改善
 ・狭心症や、心不全の症状の軽減
 ・脂質異常症、高血圧症、糖尿病、肥満の改善に基づく動脈硬化の進展抑制
 ・不安やうつ状態の軽減
 ・自律神経機能の改善

5、外来心リハ(運動療法)での取り組み

・心肺運動負荷試験により、安全かつ効果的な運動強度を決定し、専門のスタッフが心電図や血圧の確認を行いながら、有酸素運動と筋力トレーニングを行います。

・1月末現在、約1200人の患者さんに通っていただいています。

6、自宅での運動療法について

心臓病の患者さんが自己判断で高強度の運動をすることは、疾患を悪化させる危険があるため無理は禁物です。

「有酸素運動」である散歩(ウォーキング)や自転車こぎなどが推奨されています。運動前後に脈拍を測るなど体調の観察を行い、体調が悪い日(足の浮腫みが強いなど)、運動中に体の異常を感じた時(動悸、めまい、強い息切れなど)は無理せずに休みましょう。

まとめ

『心リハ』は心疾患によって低下した身体機能の回復を促すだけでなく、家庭や、社会への早期復帰を促進するために、さらには再発予防、生活の質(QOL: Quality of Life)の改善に非常に重要な取り組みで、科学的にも多くの根拠が示されています。また心疾患は、手術などの治療が終えれば完治したとされるものではなく、生涯にわたる継続的な取

り組みが必要となる疾患です。その取り組みを後押しさせていただくのが『心リハ』です。心臓手術の経験がある方、心疾患があるがどのくらい運動してよいかわからない方、どなたでもお気軽にご相談ください。

外来心臓リハビリテーションのご案内

【日時】毎週月曜～金曜日 ①9:00～12:00 ②13:00～17:00

第1、3土曜日 9:00～12:00

※運動負荷試験:毎週月・木・金曜日 15:00～、15:30～

【頻度】1～3回/週程度 1時間/回

外来受診日と合わせるなど、ご自身のペースで通院いただけます

【費用】3割負担:約2000円/回 1割負担:約700円/回

参加をご希望の方は

- ・心臓リハビリテーションの対象となるか診察が必要となります。
- ・紹介状をお持ちの上、循環器内科 富田医師の診察日(月・金午前)に来院してください。(事前に予約いただきますと、お持ちいただく時間を短くすることができます)
- ・お問い合わせ・予約連絡先

北アルプス医療センターあづみ病院 循環器内科 電話 0261-62-3166



新病棟探検シリーズ

リハビリテーション科



旧一階病棟東側に位置していたリハビリテーション科は、本館（新病棟）への移転に伴い、四か所に分かれました。旧一階病棟東側は、肩関節疾患のリハビリを専門に行う肩関節疾患リハビリテーションセンターに、一般のリハビリは、本館二階の透析と健診センターの間に移転しました。昨年十二月号で、言語療法室の紹介をしましたが、今まで建物の都合で分かれていた理学療法・作業療法・言語療法を一つにまとめ、一人の患者さんに

チームで関わることを目標としています。三階の外來棟と本館の渡り廊下スペースには、循環器病センターのリハビリを専門に行う心臓リハビリテーションがあります。また、女性骨盤底医学センターでは、骨盤底疾患リハビリを行っています。

さて、本館二階のリハビリテーション室の特徴は、床暖房であること、理学療法スペースと作業療法スペースを以前の様に壁で仕切っていないため約三百㎡のオープンスペースとなっていること、ガスの配管装置（酸素の供給が可能）があることです。それは、大きな災害が起き



たとき、地域の拠点病院として被災者を収容できるように考えて設計しました。基調となるカラーはグリーンで、特に裾壁は抹茶色の畳模様で和の雰囲気心が落ち着くものとなっております。

心臓リハビリテーション室では、心疾患患者さんを対象に、体力・筋力の改善、心疾患の発症および予防を目的とした、有酸素運動やレジスタントトレーニングなどの運動療法を行っています。また、看護師や管理栄養士と連携し、日常生活や食生活に関する相談も受け付けています。

女性骨盤底医学センターでは、尿失禁・臓器脱の患者さんを対象に超音波や経膣触診で骨盤底筋の評価およびフィードバックを行っています。また姿勢・呼吸・生活指導も重要で自主トレーニングも併せて指導しています。

新病棟になり、更に充実したりリハビリを提供できるようになりましたので、これからも宜しく願っています。



下肢の外傷疾患

北アルプス医療センターあづみ病院
整形外科医長

狩野 修治

最後となる第12回では膝のオーバーユーズ、使いすぎにより起こるとされる膝障害について紹介させていただきます。

■オーバーユーズ障害とは

以前に紹介しました半月板損傷・前十字靭帯断裂・内側副靭帯断裂といったスポーツ外傷とは異なり、膝関節の伸展・屈曲を繰り返すことにより膝周囲の靭帯付着部に炎症が生じることをオーバーユーズによる膝障害と呼びます。

腸靭帯と大腿骨外側顆との摩擦により生じるランナー膝、膝の伸展機構の繰り返し張力が加わり生じるジャンパー膝、膝関節の屈曲により膝内側の筋肉付着部に炎症がおこる鷲足炎などがあります。

■ジャンパー膝

スポーツにおけるジャンプ・着地・ダッシュ・ストップなどの急激な動作により膝関節を伸展させる大腿四頭筋・膝蓋骨・膝蓋腱・脛骨付着部の間で張力が繰り返し加わります。このことよって生じるオーバーユーズ障害です。膝前方に存在する大腿四頭筋腱の膝蓋骨付着部・膝蓋腱実質部やその膝蓋骨・脛骨の付着部に炎症が生じて疼痛が出現します。

治療として、運動前は大腿四頭筋の十分なストレッチを行い、運動中にはできるだけ深い屈曲動作を避けることがおすすめです。もちろん運動後は十分なアイシングを行い炎症の鎮静化を図ることがおすすめです。

■ランナー膝・腸靭帯炎

膝関節の屈伸に伴い大腿骨外側顆の突出部を膝外

側を通る腸靭帯が前後方向に滑走します。この前後方向の滑走による機械的摩擦が炎症をおこし、膝外側の腸靭帯に運動時痛が出現します。長距離ランナーに多くみられることからランナー膝と呼ばれます。

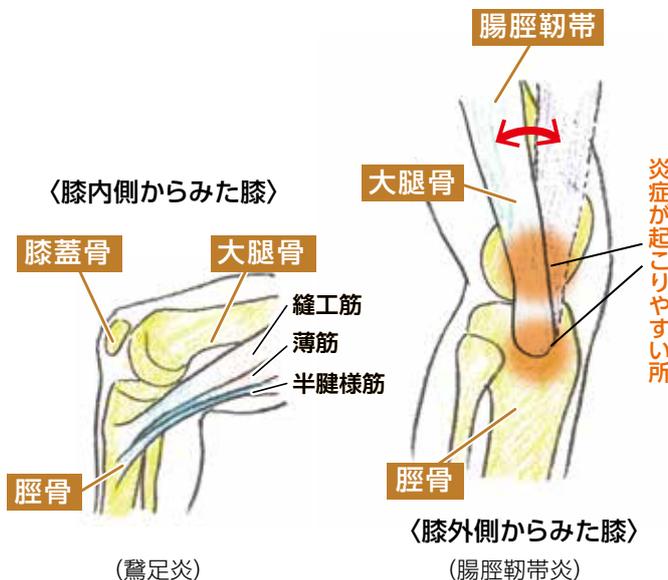
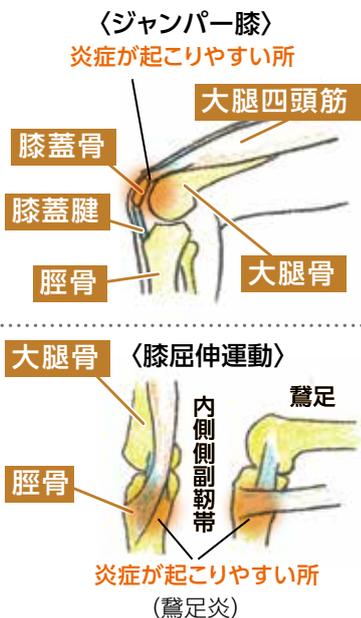
治療としては急性期には安静とクーリングが必要とされ、回復期には走行フォームの改善や運動前の十分なストレッチがよいとされています。

■鷲足炎

鷲足は膝関節、脛骨内側に縫工筋腱・薄筋腱・半膜筋腱の3つの腱が付着する部位のことであり、形状がガチョウの足に似ていることから鷲足といわれています。さらに鷲足には内側副靭帯の一部が付着し、この内側副靭帯を後方からおおうように3つの腱が付着しています。これらの付着する筋腱はすべて膝関節を屈曲・内旋させる筋となります。

膝関節の屈伸に伴い内側副靭帯と鷲足に付着する靭帯との間の摩擦が繰り返されることにより、滑液胞や腱付着部に炎症が生じたものが鷲足炎です。普段あまり運動をしない方が運動を開始した時、運動をしている方でも種目や運動量を変更した場合に発症することが多いとされます。

治療としては痛みどめの内服や外用薬で軽減することが多く、再発予防のために股関節・膝関節のストレッチがおすすめです。



定年退職者の方から

こころのホスピタル 田中裕

光陰矢のごとく、気がつけば私も60歳になり、定年を迎えることになりました。

両親の世話のため故郷に戻り、あづみ病院に再就職してから12年になります。全くわからない業種で働く事になり、不安と戸惑いでいっぱいでしたが、多くの皆様方の御指導・御鞭撻のお陰で、大過なく勤めさせて頂き、唯唯感謝あるのみです。

さて定年は、社会的には「社会的新陳代謝」だそうです。確かに若い者にとっていつまでも年寄りに頑張られたのでは、たまったものではないと思いますが、「まだまだ私は、仕事は出来る。面倒な事だって引き受けられるし、体の方だって若い頃ほどではないにしても十分に動くのに、ひどいじゃないか定年は」と、私の独り言はさて置き、齢60還暦にして、今後は「再雇用制度」を利用し気持ちを新たに働かせていただきますのでどうぞよろしくお願い致します。

最後に、北アルプス医療センターあづみ病院のご発展と、皆様のご多幸と御健康を祈念し御礼の言葉と致します。

統括看護部長 太田泰子

昭和53年に入職し、いつの間にか人生の約半分を当院で過ごさせていただいた事になります。経験では透析室勤務が18年と最も長く、検査データの見方や食生活指導の注意点を学ばせていただきました。当時は常勤の専門医が不在でしたので悩み不安な中で治療環境でしたが、非常勤のK医師から「生活背景を勘案することの重要性」を学んだことがその後の患者さん家族の方との関わりの基盤となりました。その後、8年間医療安全管理の業務に携わらせていただきました。医療安全はいかに周りを巻き込んで共に考えていく土壌を作るかが重要です。非常に重責な業務でしたが、「安全な医療提供のために」必要性が共有され徐々に組織全体の意識変革が形となっていき、やりがいを感じた業務でした。

その後は、看護部長として学ぶ機会をいただきました。知識・力不足を痛感しましたが、多くの職員に支えられ、また多くの患者さんから教えていただいたことを財産に「目配り・気配り・心配り」をモットーに努めて参りました。患者さんに寄り添った看護の提供、と言い続け、患者さんから感謝の言葉も多く頂けるようになり嬉しく思います。医療情勢は刻々と変化していますが、「虫の目」「鳥の目」「魚の目」で事に当たることが重要です。地域に無くてはならない病院として更なる発展に期待しています。

今後は再雇用制度を活用し、力を尽くすことで恩返しをしたいと考えています。

患者さんや地域の方々はじめ、未熟な私を長年導き支えてくださった全ての職員の方に感謝いたします。

5階病棟 佐藤敏子

お世話になりました。振り返れば7年過ぎていました。

50歳を超え縁があってお世話になることになりました。パソコンもできず、触ることは電源を入れることしかできない私でした。お世話になると決まった時は、周りからは大丈夫、大丈夫と言われ続け、心配しながらもどうかこうにか少しずつできるようになりました。次の心配はこの職場の中で自分の子供に近い年頃の人々について行くことができるのだろうかと思ひ悩みました。でも月日の過ぎるのは早いもので、無事定年を迎えることができたのは家族に支えられ、職場の皆さんに支えられたおかげだと思います。本当にお世話になりありがとうございました。

5F病棟 田中初子

定年までの長い間勤務することができたのは当院スタッフの皆さんの助けがあったからだと思い感謝しています。

またこの地域の方々にも助けられてここまでできました。

退院された方に「お世話になりました。」と声をかけられることが一番うれしく思います。

これからもしばらくお世話になる予定ですが、今までどおり頑張りたいと思いますので宜しくお願い致します。

人工透析室 村田のぶ子

平成13年4月より今日までの16年間大過なく勤める事ができ感無量です。

定年退職と言っても、パターンがいくつかあり、私の場合は、中年代に就職して、短い期間でしたが、定年を迎えた次第です。

この間、一緒に働いてくれた、病棟、手術室、透析室の、迷惑をかけたであろうスタッフの皆様へ感謝です。

病院内での看護補助者の役割は微々たるものですが、身体が動く事が最高の『しあわせ♥』と思うこの頃です。

結婚、子育て、介護とひと通り経験して、さて、定年退職後は農作業でもしながらのんびりと年金生活を夢見ながら、介護の続きを楽しみつつ・・・『目指せ！！我が家の食糧自給率8割』が当面の目標です。

歯科口腔外科 中嶋哲

私は北アルプス医療センターあづみ病院(安曇総合病院)に18年勤務してきました。外来棟が完成した時に歯科口腔外科ができ、病院に歯科医師が初めて常勤で勤務するようになりました。まず、びっくりしたのは労働組合関係で組合活動をしたことがなかった私が、1年たたないうちに副執行委員長に選出されたことです。何が何だかわからないうちに1年が過ぎました。その後いろいろありましたが、スタッフにも恵まれ、常勤歯科医師が2名になり、歯科衛生士も4人になり、現在に至っています。歯科のスタンスが確保され、皆一丸となって楽しく働ことができ、病院に貢献できていると思います。益々、本院が地域住民に愛される病院になってもらいたいです。



医療相談室 田中穂奈美

北アルプス医療センターあづみ病院に就職し、もうすぐ1年が経ちます。昨年の4月から医療ソーシャルワーカーとして働かせていただき、振り返ってみると本当にあっという間の1年でした。患者さん、ご家族をはじめ、地域の方、病院のスタッフ、相談室の先輩と多くの方と関わらせていただきましたが、助けていただくばかりで自分の未熟さを感じる毎日です。

これから2年目に入り、少しずつ担当させていただく患者さんが増えていきますが、一つひとつの対応・行動を丁寧に行えるよう意識していきたいです。まだまだ学ぶことがたくさんありますが、1年目で得たことを、2年、3年と積み重ねて、成長していけるよう頑張っていきたいと思います。



題 ……案山子も花見
撮影日…2014年4月27日
撮影者…臨床検査科 矢野口寛子

池田町堀之内地区の住民が作っている案山子は、まるで生きています。今年も桜の咲く頃に会えるでしょうか。



身近な食材のちくわ。実は魚の良質たんぱく質が豊富で、お財布にも優しいというおまけ付きなので、ちょっと手を加えて風味の良い天ぷら風にしてみました。

ちくわの大葉揚げ

材料 (1人分)

焼きちくわ(15cm程の)	1本	だし汁	75cc
大葉	1枚	みりん	大マヅ1
小麦粉	適量	醤油	大マヅ1
サラダ油	適量		

作り方

- ①ちくわの片側だけをカットしてもう片側は残す。
- ②大葉の長さに合うように3当分にする。
- ③中に大葉を入れて小麦粉をまぶす。
- ④楊枝で固定して油であげる。
- ⑤楊枝を取ってお皿に盛り付ける。
- ⑥天つゆはだし汁とみりんと醤油を入れて沸騰したら完成。



栄養素量 (一人分)

エネルギー	197Kcal
たんぱく質	12.2g
塩分	2.1g

●調理師 松田 大

北アルプス医療センター あづみ病院
休診日のお知らせ
(赤字の日が全科休診日です)

2017 3月 March

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2017 4月 April

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24	25	26	27	28	29

お知らせ

休日緊急当番医

●3/12(日)
本院(大北南部地区)
内科・外科

●3/20(月)
白馬診療所(大北北部地区)



『宝の箱』 よりよい病院になるために、患者さんからいただいたご意見の一部を紹介いたします。

ご意見・ご要望	お返事
<p>自慢の病院であって欲しいので一言。 受付けは病院の顔であり、選ばれた職員が配置されていると思っていたが、態度や言動で不快な思いをすることがある。度重なると、「請求書は大丈夫か」と言う患者もいた。 職員の配置は慎重に願いたい。</p>	<p>大変ご不快な思いをさせてしまい申し訳ありませんでした。受付けは患者さんと最初に接し、最後に接する重要な部署と認識しております。職員一人ひとりに受付業務の心得、態度・言葉使いについて再周知ならびに確認させていただき、受付業務にふさわしい職員の育成に努めます。また医療費の請求に関しましては誤りが無いよう複数確認しております。これからも、患者さん一人ひとりが安心して医療が受けられるよう努力して参ります。 ＜医事課責任者＞</p>
<p>細やかな配慮に感謝いたします。 食事では「旬の彩りご膳」など季節の料理に心が温まりました。また退院時にはお祝いのメッセージもありとてもうれしく思いました。 夜中にも頻りに足を運んでいただき、皆さんのお仕事に何よりの信頼を受け取ることができたのは治療への第一歩と言えるでしょう。入院中ありがとうございました。</p>	<p>嬉しい言葉をいただき、ありがとうございます。「旬の彩りご膳」は今年度から始まりました。普通食の方で且つ月に一度の提供となる為、全員の患者さんに提供できるとも限りませんが、これからもメニューの工夫等行っていきます。 夜間の看護業務に対し良い評価をいただきました。常に危険のないよう気を配り、今後も丁寧な業務を行っていきたく思います。 ＜栄養科責任者・病棟責任者＞</p>

『おすすめの一冊』

「ガンリン生活」 著者：伊坂幸太郎
出版社：朝日新聞出版

大学生の兄・望月良夫と小学生の弟・亨が、ドライブ中に偶然出会った女優を愛車に乗せたことで、さまざまな事件に巻き込まれています。そんなこの物語の語り手は、愛車の緑色のデミオです。車内での人間の会話や隣の家の車との世間話、町中での車のおしゃべりから事件の真相が紐解かれていきます。もちろん車外での会話の内容はわかりません。車内で大事な話をしている、ここで謎が解けるかも？という時に、車を出て行ってしまふこともしばしば。この話の続きが聞きたいのに！という場面もありますが、最後にはすべての点が線につながります。

望月兄弟が巻き込まれた事件の真相はもちろんですが、噂好きのタクシー、持ち主大好きなヴィッツ、何を言っているかわからない自転車など、個性豊かな車たちの会話も見どころのひとつです。彼らのやりとりを見ていると自分の車の声にも耳を傾けたくなるかもしれません。

医療秘書室 平川朋子

編集後記

「冬来たりなば、春遠からじ」とは寒い冬の後には春がくるように、苦難の先に必ず希望があることを例えた言葉です。次第に暖かくなり、春を心待ちにしている方も多いと思いますが、身体に気を付けて、元気で春を迎えましょう。(T.N)

北アルプス医療センター
あづみ病院理念

質の高い医療と社会への貢献をとおし、地域の皆さまから信頼される病院を築きます。

〈基本方針〉

- ① 医の倫理を守り患者さんの権利を尊重し、平等で親切、安全な医療・福祉サービスを提供します。
- ② 救急医療から在宅医療まで広く、地域の皆さまの安心を支えます。
- ③ 地域の皆さまの健康を支える、やさしい医療につとめます。
- ④ 日々の研鑽に励み、明るい職場環境造りと信頼される医療人の育成につとめます。
- ⑤ 保健予防活動を通じて地域の皆さまの健康増進に貢献します。
- ⑥ 研究・文化活動を積極的に展開し豊かな地域づくりに貢献します。

患者さんの権利と責任

『患者さんの権利』

- ① 最善で安全な医療を平等かつ公平に受ける権利
患者さんは、疾病の種類、社会的立場等に関わらず、良質で安全な医療を、平等かつ公平に受ける権利があります。
- ② 個人として尊重される権利
患者さんは、一人の人間としてその人格・価値観などを尊重され、尊厳をもって扱われるとともに、自らの意見を述べる権利があります。
- ③ 十分な説明と情報提供を受ける権利
患者さんは、自分の病気、検査と治療方法や危険性、他の治療法、見直しなどについて、理解しやすい言葉や方法で、十分な説明と情報の提供を受ける権利があります。
- ④ 自らの意思で選択・決定する権利
患者さんは、自らの受ける検査や治療方法などについて、説明を受けた上で、自分の意思で選び決定する権利があります。
また、希望しない医療を拒否したり、医療機関を選択したりする権利があります。そのためにカルテを

含む診療情報の開示や他の医療機関の医師の意見(セカンド・オピニオン)を求める権利があります。

⑤ 個人の情報やプライバシーが守られる権利

患者さんは、自らの承諾なしに、診療の過程で得られた個人情報や第三者に対し、開示されない権利があります。また、病院内でのプライバシーが守られる権利があります。

『医療とのパートナーシップ』

- ① 良質な医療を実現するために、自らの心身あるいは生活について必要な情報をできるだけ正確にお知らせください。また、納得できるまで質問するなどして自らの疾病や医療内容を十分に理解してください。
- ② 検査や治療について、納得し合意した方針には意欲を持って取り組んでください。
- ③ すべての患者さんが快適な環境で医療が受けられるよう、病院内での規則と病院職員の指示を守るようご協力ください。
病院職員による医療提供や、他の患者さんの診療に支障を与えないようご配慮をお願いします。

受付時間：平日 7:30～11:30 ※診療科により受付時間が
土曜 7:30～11:00 異なります。

担当医表

お問合せ：0261-62-3166

平成 29 年 3 月

診療科目	曜日	月	火	水	木	金	土
内科	内 科 新 患	岡田光代 信 大	東方壮男 川上裕隆	馬渡栄一郎 林田研介	川上裕隆 芹澤由樹子	早野敏英 岡田光代	東方壮男 (第1のみ) 川上裕隆 早野敏英 (第3のみ)
	内 科 (一 般) 再 診 (予 約 制)	川上裕隆 東方壮男 林田研介	岡田光代 林田研介	東方壮男 川上裕隆 早野敏英 岡田光代 林田研介	早野敏英 林田研介	川上裕隆 林田研介	早野敏英 (第1のみ) 岡田光代 林田研介
	循 環 器 内 科	富田 威 東方壮男	桑原宏一郎 (信大)	東方壮男	柴 祐司 (信大)	富田 威 馬渡栄一郎	
	呼 吸 器 内 科	岡田光代	岡田光代	花岡正幸 (信大) (10:00 から診療) 岡田光代		西江健一 (信大) (第1・3・5のみ) 池川香代子 (信大) (第2・4のみ)	藤本圭作 (信大) (第1のみ)
	神 経 内 科	林田研介 野村俊 (信大) (第1・3・5のみ) 高松良太 (信大) (第2・4のみ)	林田研介	林田研介	林田研介	林田研介	林田研介
	腎 臓 内 科	芹澤由樹子 (予約)			芹澤由樹子 上條祐司 (信大)		
	リウマチ・膠原病 (予約制)						信大 (完全予約)
	在宅支援科 (予約制)		薛 孝太郎 (14:30～16:00まで診療)				
精神科・心療内科	精 神 科 心 療 内 科 (予 約 制)	村田志保 鬼頭 恆 中村伸治 古屋昌宏 雨宮光太郎 小笠原紘輔 鈴木一浩	中村伸治 古屋昌宏 小椋京子 雨宮光太郎 湯澤宏式 (第1・3・5のみ) 小笠原紘輔 鈴木一浩	村田志保 鬼頭 恆 (AM) 中村伸治 湯澤宏式 小笠原紘輔 鈴木一浩	村田志保 (AM) 鬼頭 恆 中村伸治 樋端佑樹 (信大) (第1のみ) 古田 康 (第2・4のみ) 古屋昌宏 雨宮光太郎 湯澤宏式 小笠原紘輔	村田志保 鬼頭 恆 中村伸治 古屋昌宏 雨宮光太郎 湯澤宏式 (第2・3・4・5のみ) 小笠原紘輔	鬼頭 恆 中村伸治 古屋昌宏 雨宮光太郎 湯澤宏式 小笠原紘輔 鈴木一浩
	新患 (午前) (予約制)	(輪番)	(輪番)	(輪番)	(輪番)	(輪番)	(輪番)
	認知症診療 (予約制)	(輪番)	(輪番)	(輪番)	(輪番)	(輪番)	(輪番)
	小 児 科	午前 原 敏博 小口弘子 午後 慢性疾患 (予約) (原 敏博) (小口弘子)	保刈 健 (小口弘子)	小口弘子 (保刈 健)	保刈 健 (小口弘子)	小口弘子 又は 保刈 健	慢性疾患 (予約) (保刈 健)
外科	一 般 外 科	唐澤文寿	石曾根 聡	唐澤文寿	石曾根 聡 久米田 茂喜 (予約)	唐澤文寿	石曾根 聡 宮川眞一 (信大) (第3のみ)
	専 門 診 療			信 大 (乳腺) (予約)		信 大 (甲状腺) (予約)	
呼 吸 器 外 科	花岡孝臣 藏井 誠 (第2・4PMのみ)		藏井 誠	花岡孝臣			花岡孝臣
形 成 外 科 (受付15時まで)		安永能周 (信大) (13時から診療)					
整形外科	新 患 (受付10時30分まで)	上甲敏雄 中村恒一 (手・肘新患)	輪 番 中村恒一 (手・肘新患)	狩野修治	柴田俊一 向山啓二郎 (脊椎新患)	王子嘉人	信 大
	再 診 (要 予 約)	畑 幸彦 (完全予約制) 最上祐二 石垣範雄 中村恒一	中村恒一 向山啓二郎 上甲敏雄 高橋淳 (信大)	最上祐二 向山啓二郎 王子嘉人	中村恒一 向山啓二郎 狩野修治	畑 幸彦 (完全予約制) 最上祐二 柴田俊一	信 大
肩関節治療センター (受付10時30分まで)	畑 幸彦 (完全予約) 石垣範雄 (完全予約)	手術日	石垣範雄 (診療開始 10:00 から)	手術日	石垣範雄 (初診)	畑 幸彦 (完全予約) 石垣範雄 (第3のみ)	
皮 膚 科	河内繁雄 高沢裕子	河内繁雄 高沢裕子	河内繁雄 高沢裕子 こども外来 (15時～17時まで診療) 初診 (当日) 受付 16:30 まで	河内繁雄 高沢裕子	河内繁雄 高沢裕子	河内繁雄 高沢裕子	河内繁雄 高沢裕子
泌 尿 器 科	平林直樹	西澤 理 平林直樹	平林直樹	西澤 理 平林直樹	平林直樹	平林直樹	平林直樹
女性骨盤底医学センター		西澤 理	西澤 理 (第2・4の14時～のみ) (完全予約制)	西澤 理	山ノ井万里子 (信大)		
産婦人科 (予約制)	信 大 (予約)	曾根原衛雄 (予約)		信 大 (予約)			
眼 科	太田いづみ	今井玲子		太田いづみ・今井玲子 (午後コンタクトレンズ 要予約)	太田いづみ (受付10時まで)	今井玲子	
耳 鼻 咽 喉 科 (受付 16 時まで)		信 大 (14時から診療)			信 大 (14時から診療)	信 大	
放 射 線 科				信 大			
麻 酔 科 (完全予約制)	小林浩一 (完全予約制)		小林浩一 (完全予約制)		小林浩一 (完全予約制)		
リハビリテーション科	畑 幸彦	畑 幸彦	畑 幸彦	畑 幸彦	畑 幸彦	畑 幸彦	畑 幸彦
歯 科 口 腔 外 科	中 嘉 哲 飯島 響	手 術 日 (急患対応は要相談)	中 嘉 哲 飯島 響	中 嘉 哲 飯島 響	中 嘉 哲 飯島 響	中 嘉 哲 飯島 響	中 嘉 哲 飯島 響
緩和医療外来 (予約制) (10:30～12:30まで診療) 0261-61-1165	阿部克哉	薛 孝太郎 間宮敬子 (隔週)	阿部克哉	薛 孝太郎	薛 孝太郎	薛 孝太郎	

北アルプス医療センター 白馬診療所

内 科	下里修一	下里修一	下里修一	下里修一	下里修一	下里修一
人 工 透 析	富田 威 (午後から診療)		下里修一 整形外科医師 (15時から診療) (第2・第4のみ)			
リハビリテーション科						